

理事通信
8月号

国際会長(IP) Henry J. Grindheim(ノルウェー) “Let us walk in the Light-together” 「ともに、光の中を歩もう」

アジア・太平洋地域会長(AP)Tung Ming Hsiao(台湾) “Respect Y's Movement” 「ワイズ」運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野勉(神戸ポート) 「2022年に向けて心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
“Healthy mind & healthy body make healthy club”



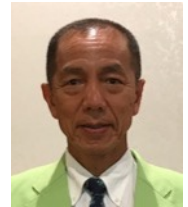
2017年8月1日

暑中お見舞申し上げます

2017-2018年度西日本区理事 大野 勉(神戸ポート)

梅雨明けとはいうものの、すっかりしない天候が続きます。猛暑日のところもあれば、これまでにない豪雨に見舞われたところもあります。被災して不自由な生活を強いられる人もいれば、同じ質問に対して、これまた同じ回答に時間をかける人もいます。一方で、子供たちは、夏にしかできない貴重な体験を求めて、本を読んだり、野や山に出かけたり、プール水泳に励んだり、夏休みを有意義に過ごそうと懸命です。

私たち大人も、今しかできない貴重な体験を、日々重ねていきたいものです。



8月は、 Youth Activities の月、

Ymca サービス・ユース事業の強調月間です。

ユースと共に YMCA を尊重し、ワイズメンズクラブとしての責任と協力を果たし、互いの理解を深める為のプログラムを推進しましょう。

山川新一 Y サ・ユース事業主任 (京都めいぷるクラブ)

今月の聖句 2017. 8

<ローマの信徒への手紙 12章 15節>

聖書の小窓 「共感・寄り添い」

教会のおばあちゃんたちの微笑ましい話。3人のおばあちゃんの会話です。

A「わたしは最近、何をやるにも『よっこいしょ』と声をかけなければ体が動かないので、どうにもやれん」

B「そりゃあまだいいね。わたしは『どっこいしょ』といわねばならん」

C「2人ともまだまだいいね。わたしは『よっこら、どっこいしょ』といわねばならん」と。なんとも、微笑ましい限りです。ゆっくりと時間が流れているような感じがして。なんだか天国にいるような会話だと思いました。

誰が言ったかわかりませんが、次のような言葉があります。

「子供 叱るな 来た道だもの 年寄 笑うな 行く道だもの」

なかなかいい言葉だなあとと思います。私たちは自分がその時にどんな思いをしていたかよく忘れます。また逆にその時になってみなければわからないことがたくさんあります。あくまでも自分に謙虚であることが大切だと思います。

イエス様は共感することを教えられます。これほど難しいものはありません。自分を捨てなければ共感できないことが多いからです。寄り添いはすべてのことにおいて共感できる姿ですね。

西日本区チャプレン立野泰博 (熊本ジェーンズ)

お知らせおよびお願い、報告

8-1 <前期半年報から>

前期半年報の集計・報告、ありがとうございました。

2017-2018年度は、85クラブ、1536名からのスタートです。2016-2017年度の期首は、83クラブ、1494名でしたから、純増42名となりました。

直前理事岩本期の「ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を！」の成果と言えるでしょう。

これは、2011-2012年度期首以来の増加となります。しかし、その期は1678名でスタートしています。6年前は、100名以上多かったのです。今期も増強にぜひ力を入れていきたいものです。

7月例会で新入会者が12名ありました。

おめでとう！新入会者（7月）

福岡中央:3名, 京都 ZERO:1名, 名古屋2名

大阪泉北:1名, 宝塚:2名, 大阪:1名

神戸ポート1名, 和歌山:1名 計12名

※各クラブ1名以上の増員を、

どうぞよろしくお願いします。

8-2 <区費の納入お願いします>

前期半年報に基づきまして、区費の請求書と「払込取扱票」を西日本区事務所より送付いたします。8月15日までに納入をお願いします。また、納入の完了しました部から順に、部活動費を各部あてに送金いたします。

8-3 <ロースター配布>

お待たせいたしました。新しいロースターが完成し、配布させていただきました。

校正、編集等、ご協力ありがとうございました。

改正、追加等ありますので、よくご覧いただき、ご活用ください。

誤記等修正すべき点がありましたら、事務局までお知らせください。

<訂正をお願いします>

P.67 ワイズ将来構想特別委員会

荒川恭次②(名古屋)→(名古屋グランパス)

P.71 強調月間リスト3月森本榮三 JWF 管理委員長→岩本悟 JWF 管理委員長(熊本にし)

8-4 <第1回西日本区役員会7月15・16日>

審議された議案について報告いたします。

第1号議案

「第1回、第2回準備役員会議事録について」全会一致にて承認されました。

内容は2017-2018年度の役員会等の日程の件、各委員会等の委員長・委員専任の件、ロースターの発行部数等の件、交通費支給基準の件、西日本区会計予算案及び事業費収支予算案承認の件でした。

第2号議案

「第1回役員会2日目の聖日早天礼拝において寄せられた献金」については、修正の上、九州北部豪雨災害募金として、日本YMCA同盟に献金することが全会一致にて承認されました。

献金額は37,116円でした。

第3号議案

「JWF管理委員会委員、ワイズ将来構想特別委員会委員追認の件」

代議員会の際には定員に足りていませんでした。よって、2人の委員の追認が全会一致にて承認されました。

(ロースターには掲載済み)

第4号議案

「防災特別委員会の件」

委員会の趣旨、活動内容等、精査する必要があるため、継続して検討の上、再度提案を要するため、今回は取り下げられました。

第5号議案

「YES 献金の取り扱いについて」

今期の目標としてお一人500円と掲げています。この献金は、当初の計画では、そのまま国際に送る予定でしたが、昨年度からの継続審議の中で、全額送付するのではなく、国内用にプールする方が、より西日本区の活性化につながるのと趣旨で、今期は、献金額の6割を西日本区にプールすることが賛成多数により承認されました。この基金は、クラブのエクステンションに当てられます。

第6号議案

「ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会の設置承認の件」

ワイズとYMCAが共に成長・発展して

いくための好意的な関係づくりをめざして、東西日本区(3名+3名)、日本YMCA(3名)リエゾン(2名)が委員となります。年に2回、東と西とで会合を開きます。年1回の会合の費用を各区で負担する、ということが賛成多数により承認されました。

第7号議案

「JWF 管理委員会規則改正の件」
JWF 管理委員会規則第5条を

「本委員会は、理事及び6名の委員で構成される。この6名に付いては、理事以外の役員会議決権者をのぞくものとし、理事をのぞく委員により委員長を互選する。次期委員は区役員会において選出され、次期理事が任命する。との改正が賛成多数により承認されました。施行は、2018年7月1日となります。

第8号議案

「Y's Men's World の名称変更に伴う西日本区定款施行細則及び各種諸規則改正の件」

昨年度、ワイズメンズクラブ国際協会の公式機関誌である Y's Men's World の名称が変更され、YMI World となり、それに伴って改正が必要となったため、改正が承認されました。

第9号議案

「区報、研修会テキスト等西日本区発行印刷部データの保存及び管理について」

西日本区発行の公式印刷物(区報、研修ワークブック等)の製作はデジタル化されていますが、将来にわたっての保存及び管理、情報のホームページへのアップについて協議され、保存は事務所で、保存の方法は、編纂委員会で検討し提案する、ということが全会一致にて承認されました。

第1号協議案

「ポータルバズ(メンバーシップ管理ツール)を今期中に導入できるか」について協議されました。

第2号協議案

「ワイズ将来構想特別委員会の活動報告から」
昨年度行ったアンケート結果の報告を受け協議を行いました。

以下、委員会の概要報告 西日本区全クラブ実態調査アンケート結果 概要報告について

1. アンケート実施の趣旨

昨年11月から活動を開始した当委員会が目的とする、西日本区の衰退傾向に歯止めをかけ、広くワイズダム回復発展に寄与するために、その施策の一端として実施したものであり、将来構想基本計画・実践計画策定のためには、全クラブの実態把握が欠かせぬ前提条件であること、一方、各クラブが現状を見直す機会としてこのアンケートを役立てていただくことを期待して実施しました。

2. アンケート回収までの経過

① 3月1日に84クラブに配信したアンケートは、当初の提出期限3月25日では僅か30通(36%)にとどまったため、各部長の支援もいただいて提出督促に努力した結果、ついに4月末には全クラブ回収を達成しました。

② 当委員会では、通常よく見聞する回収率が50%も満たないアンケートでは、到底目的に叶う実状をとらえていないとの信念のもと、ワイズ初の意義ある大規模アンケートであるだけに今回は100%絶対回収を目指すとの強い意欲を持っていましたので、委員会としては100%の回収結果は十分満足のいくものとなりました。

③ ここに改めてご協力いただいた全クラブ会長はじめ部長や関係者に対して深甚なる感謝の意を贈りたいと存じます。誠にありがとうございました。

ただ、大幅な回収遅延のため結果の分析日程が不足となり、委員会として今回の代議員会において十分な報告ができず概要報告にとどまることをご了承願います。

3. アンケートの回答

① 今回のアンケートの質問項目は、短答式質問が128項目、意見式質問が14項目合わせて142項目という詳細かつ大型のアンケートとなりました。

② 回答については、短答式の補足意見がA4用紙に約5ページ、意見式項目については実にA4用紙20ページに及びました。

4. アンケートの感想(質問事項No.14)についての報告

① 紙媒体でなくメール配信がよい。せめて回答にあたってはメール回答が選択できればよかった。

② 回答に難しい設問項目があった。

くこれらについては時代をとらえた意見として反省すべきと思います。>

- ③ よくできたアンケートであり、時間をかけて丁寧に作られたものと思います。

しかし、これをしたからと言ってメンバーが増えるとは思えない。

ワイズの組織そのものが老朽化したことを再認識する視点が必要である。

<今回のアンケートの意義は老朽化しているワイズの回復施策を探る下準備であることをもう少し理解してほしいと思います。>

- ③ アンケートがクラブ活性化のヒントになればいい。
- ④ クラブの現状を見直すとても良い機会となった。
- ⑤ クラブの全体像を見つめるうえで大変結構な内容でした。
- ⑥ 将来のためにとっても良い試みだと思う。
- ⑦ すべての役職が単年度であり、変えることが難しく、守ることだけになっているかもしれない。抜本的な見直しができるこのような委員会が必要であり期待している。
- ⑧ ワイズダム発展のために全クラブアンケートを実施された行動力に敬意を表します。

<おおむね好評な意見のなかで、当委員会の活動に対して温かいエールまで送ってくださったことには心からの感謝であり、委員会の使命完遂に一層の努力をしたいと思います。>

5. アンケート意見式質問項目 NO1~13 についての報告

先の3-②に記載のとおり回答事項が大量であり、委員会として詳細な分析ができていませんので、今後この分析検討作業を終えるまで発表を控え、委員会としての感想の一端を述べるに止めさせていただきます。

- ① アンケートに設問の拙さや紙媒体であったとはいえ、回答回収に2か月を要したことは、弱体化している西日本区の現状を見る一つのヒントとなった。
- ③ 先に実施した定量要因結果である会員数減少や高齢化を裏づける定性要因調査となった。
- ④ 希望や夢がない弱気な意見が実に多い。
- ⑤ ワイズダム回復発展への建設的意見が少なかつたとは言え、EMC・YMCA・CS・ブランド・組織改革・若手ワイズの活躍など広い範囲で、委員会が目指す基本計画策定には参考となる意見がみられる。

- ⑥ できる限り西日本区が早く上昇ムードに切り替わるように、全クラブへ勇気と熱意を喚起できるよう努めねばならない。

◎以上をもってアンケート結果概要報告を終わりますが、今後とも当委員会の活動に対し温かいご理解と力強いご支援をお願いする次第であります。

第3号協議

熊本区大会で配布された記念ペンダントをベースとして、熊本城復旧応援を行う件について協議されました。

※詳細は、区報第1号の発行をお待ちください。

8-5 <メネット事業主査研修会>

7月1日(土)13:00~16:30 於神戸 YMCA

中道京子メネット事業主任の招集で、西日本区9部から全主査をはじめ総勢43名が集い、今期の事業について学びの時がもたれました。テーマは「子どもの貧困」、講演はWACCA代表茂木美知子氏による「WACCAの活動から見える貧困」、フードバンク関西理事長浅葉めぐみ氏による「フードバンクって何?」でした。詳細は、事業主任通信をご覧ください。



神戸 YMCA 新会館ロビーにて記念撮影

8-6 第27回アジア太平洋地域大会 7月21~23日

- (1) 議会にて、第28回アジア太平洋地域大会が2019年7月19~21日に東日本区の仙台で開催されることが承認されました。
- (2) 岩本理事期の取り組みが報告されました。①メンバー増員となった。②2つの新クラブが誕生した。20周年を記念して東西日本区交流会が開催された。③ワイズ将来構想特別委員会とワイズ

YMCA パートナーシップ検討委員会を設置し、2022 年に向けてビジョンをもって活動を続けている。④熊本地震復興支援へのお礼⑤YES 基金の使途を明確にしてほしい。といった報告、提案がありました。

それを受けて、YES 基金については、6 名の委員が再選出され、明確な活用の仕方が提示されることになりました。



バナーセレモニー カルチャーナイト (炭坑節)



コンヴェンションセンターロビーにて・西日本区からの参加者
7月21日(金)に開幕、バナーセレモニー。夜はIPAPナイト。カルチャー紹介コーナーでは、九州北部豪雨災害を覚えて、炭坑節をみんなで踊りました。会場のみなさんも一緒に踊っていただきました。

7月22日(土)午前はFORUM、午後はエクスカッション、夜はAPナイト。最後は、AYCユースの素晴らしい発表でした。

7月23日(日)各Forumからの報告。閉幕。それぞれの帰路につきました。

8-7 EMC 事業主任より

◎7月2日(日)九州部 EMC シンポジウム



九州部：とても温かい雰囲気と盛り上がりの

あるシンポジウムでした。

◎7月17日(月)瀬戸山陰部 EMC シンポジウム



瀬戸山陰部：温かい雰囲気と癒される心地よさ。真面目に、そして真剣に取り組んでおられますので、サポートしたくなりました。

EMC 事業主任三科仁昭(京都東稜)

8-8 リーダーシップ開発委員会

7月29日(土)於西日本区事務所

LD委員はじめオブザーバー、アドバイザーと事務所職員含め16名で開催されました。10月21日・22日に開催される次期役員研修会に向けて、綿密な計画が進んでいます。



8-8 <西日本区事務所から>

8月14日(月)はお休みいたします。

その日以外は、通常の開所日となります。

月、水、木、金曜日の午後1時～5時

8-9 九州北部豪雨緊急支援募金

別添のチラシを参考に、各クラブでの支援をご検討ください。

8-10 第73回国際大会 in 麗水(ヨス)韓国

2018年8月9日～12日に開催されます。

みなさん、ご予約ください。

ワイズメンズクラブ国際協会 **第21回 西日本区大会**
すこやか、しあわせ、ワイズとともに
 2018年6月9日(土)・10日(日) ANAクラウンプラザホテル神戸
 ホストクラブ:神戸ボートクラブ・宝塚クラブ
神戸クラブ・高宮クラブ・神戸西クラブ・神戸学園華南クラブ・S.A.K.クラブ・西尾クラブ